

## 平成30年度第3回6月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成30年6月14日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名  
出席委員6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	滝田純子
	委員	竹内明子
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子
	委員	和田裕二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久

### 4. 議 題

#### (1) 報道特別番組

「復興への想いを力に～那須水害から20年～」について  
平成30年5月26日(土)午前9時25分～9時55分放送  
説明 報道制作部 川島育郎

#### (2) その他

## 5. 議事内容

### (1) 「復興への想いを力に～那須水害から20年～」について

試聴番組：5月28日に放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局の川島が番組の企画・制作内容について説明した。

那須水害から20年が経過して現地はどのように歩みを進めているかを改めて振り返った。被害者2組、県職員、防災士に焦点を当てたことなどを説明して審議に入る。

各委員からは、

- 他県から栃木県に仕事に来て那須水害を知らなかったのもとても勉強になった。ドラマティックさを演出したのはわかるが初めのナレーションまでが長かった。全体としてはテーマが絞られていてわかりやすかった。
- 冒頭からタイトルまでが長く、何の番組が始まるのかわかりづらい。このように災害や防災を番組で取り上げるのはとても良い。災害があった8月に放送するともっと良いのではないかな。
- このような防災や災害対応に関する番組をもっと放送してほしい。取り組みとして非常に良かった。栃木は災害が少なく備えが忘れがちになる。生の意見を感じるものがある。番組を含めて、このような災害に関する企画をぜひ展開してほしい
- ラジオは災害に欠かせないツール。改めて聞くとリアルに感じた。シンプルな番組構成で良かった。20年前のことはネットの情報も少なく、放送の活躍を期待したい。ただなぜ5月の放送なのか、台風などが近い頃の放送が良い。再放送をしてはどうか。
- とても良い番組だった。炊き出しのボランティアに行った20年前を思い出した。警鐘を鳴らすためにもいい番組だと思う。ボランティアをもっと掘り下げて良かったのではないかな。
- 生々しさが目に浮かぶようで当時のニュースを思い出した。ボランティア活動をもっと強調して取り上げてほしい。被害者に寄り添って伝えることをしないと忘れ去られてしまう。このような番組でぜひ警鐘を鳴らしてほしい。
- 災害の時、ラジオで状況・情報を知り、ありがたかった。繰り返し同じような番組を放送してほしい。
- 出演者の人選が良かった。ボランティアをもっと取り上げてほしい。備蓄についても報道してほしい。防災シリーズとして番組をやっていくのはどうか。
- 復興するのにどの様なところがバックアップしたのか知りたい。教育番組としても学生などに聴かせると良い。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(平成30年7月1日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(平成30年6月25日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(平成30年6月25日～)

以上